

球 敬 会 報

(神戸球友ボーイズ創立10周年記念号) 2009年10月発刊

1. はじめに

神戸球友ボーイズは、今年で創立10周年を迎えることとなり、それを記念して球敬会会報を発刊し、神戸球友ボーイズの近況とOB近況をお伝えし、今後とも神戸球友ボーイズの発展のためバックアップして行きたいと思いを。

2. 球敬会会長挨拶

神戸球友ボーイズ創設10周年おめでとう御座います。10年一昔と言いますが、この10年でこんな立派なチームになるとは、想像もできませんでした。これも、指導者の皆さんそして歴代の父母の皆さんの、球友を想う気持が有ればこそ、今があるのだと思っております。子供達には、この素晴らしい環境で3年間、ばっちり鍛えてもらって、立派な選手、人として巣立って下さい。その為に、球敬会は力の限り神戸球友ボーイズを、バックアップして行く想いであります。父母の皆様にも、OBの皆様にも今後とも、ご協力宜しくお願い致します。尚、来年1月の練習初めに恒例のOB戦と、午後より10周年を記念しOB総会を開催する予定です。OBご父兄の方にも奮ってご参加頂きます様、楽しみにお待ちしております。



会 長 前川 弘志

3. 神戸球友ボーイズ会長挨拶

神戸球友ボーイズ10周年おめでとう御座います。球団立上げから今日まで、神戸球友ボーイズに関係した皆様とともに、心よりお祝いをしたいと思います。思い起こせば、富監督が永年培ってきた野球技術や野球理論を、野球を愛する子供達の為に、寸暇を惜しむ事無く伝えたいと言う強い意思で生まれたのが、今日の神戸球友ボーイズでございます。あれから10年、10周年を迎える現在は、クラブチームに神戸球友ボーイズ在りとまで言われるチームに育ちました。その間、甲子園球児や大学野球の選手など多くの選手を輩出してきましたが、現場指導者に加えて、多くのご父兄の協力が、今日の神戸球友ボーイズを築き上げたものと考えます。しかしながら、ホーム球場を有するまでになった球友ですが、今日に至るまでは数々の苦勞がございました。チーム発足から揺らぎない団結の神戸球友に対する、他チーム、連盟の誹謗中傷や練習場の確保等、本当に苦しい時代もありました。しかし、そんな苦勞もチームスタッフの弛まぬ努力と、ご父兄の力強いご支援を受けて、その苦勞は、今となっては笑い話しにできるのも、他チームには無い神戸球友ボーイズの魅力の一つでございます。最後になりますが、10周年を区切りとして、20周年に向けて更に神戸球友ボーイズが飛躍することと、球敬会の益々のご発展を祈念致しましてお祝いの言葉とさせて戴きます。



会 長 吉田 泰三

4. 神戸球友ボーイズ代表挨拶

拝啓 時下、球敬会の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素より暖かいご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。神戸球友ボーイズも今年で創立10周年を迎える事ができました。これも、日頃より協力企業・球敬会・現役父母会の皆様のご協力がなければ存続しなかったと思います。昨年、布施畑に専用球場も持つ事ができました。皆様方のご協力のおかげと大変感謝いたしております。設立時は、全員で8人しかいなく相手チームより一人借りて練習試合をしたのを昨日の様に思われます。現在、球友ボーイズは全学年で65名在団しております。昔と違い組織としてもしっかりとしていなくてはなりません。10年を節目に次の20年に向けて神戸市内で一番のクラブチームを目指しスタッフ一同努力してまいります。皆様方におかれましてはより一層のご協力及びご支援の程、宜しくお願い致します。



代 表 森本 剛史

5. 神戸球友ボーイズ副代表挨拶

日頃は神戸球友ボーイズの活動に際しまして、ご支援御鞭撻、誠に有難うございます。

私も気がつく球友に関わり、8年目を迎えています。その間多くの球敬会の皆さんと知り合うことが出来うれしく思っています。ご存知のとおり昨年9月には念願でありましたホームグラウンドも落成しました。会長、代表、監督は毎週のグラウンド探しを懐かしく思いながら安堵の気持ちでしょう。球友で主管する「兵庫のじぎく大会」も、ホームグラウンドを使用し球敬会、現役父母会のご支援ご協力第4回を開催することが出来ました。創部10年。色々なことがありましたが年の経つのは早いもので、あの遼太、昌吾も来春には高校生です。歳を感じます。



副代表 和泉 茂則

また、OB並びに球敬会の総会を企画しております。その節には皆様御参加頂き、楽しい時間を過ごしたいと思っております。今後共、神戸球友ボーイズを宜しくお願い致します。



堀口遼太、寛太兄弟

球 敬 会 報

(神戸球友ボーイズ創立10周年記念号) 2009年10月発刊

6. 神戸球友ボーイズ監督挨拶

いよいよ、本年9月に神戸球友の立ち上げから10年と言う大きな節目を迎えることができました。又、昨年の9月には念願であった専用グラウンドも完成し、これも偏に球敬会の皆様方のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。さて、この10年間の各学年の思い出を振り返ってみると、



- 1期生：藤本(ヒロ)初代キャプテンが下級生を率い、神戸球友最初の春季大会支部予選出場。初戦の「兵庫尼崎」戦で、13対0(4回コールド負け)
- 2期生：エース坂戸を中心に纏りと走力と守備が特徴のチーム。4月の尼崎大会でセンター「トヨ」が左中間よりのライナーを横っ飛びでキャッチしたシーンは今でも忘れることが出来ない。
- 3期生：春・夏連続で全国大会出場歴最強のチーム。春季大会支部予選の1回戦での「尼崎ボーイズ」戦、3点差で最終回を迎え、ショートゴロで試合終了のはずが……。同点まま延長戦を終え、抽選で勝利し全国大会への道がスタートした。
- 4期生：関西秋季大会で、準々決勝前年まで苦汁を飲まされ続けた「京都田辺」戦の勝利。なかでも夏木が打った詰まりながらの決勝タイムリー。夏の支部予選は、今をときめく楽天のエース「田中マー君」に惜敗。
- 5期生：雨の中の東岡山大会。これまで経験したことの無いほどの水溜りの中での準優勝。夏の支部予選も雨で3時間以上遅れて試合開始されたことも思い出される。
- 6期生：秋季大会初戦で、当時の優勝候補であった「神戸ブルーウェーブ」に勝利し期待するも公式戦の試合数が最も少なかったチーム。それと、21名の在籍者で、登録メンバー選考に腐心したことが思い出
- 7期生：最大の入部者があった学年。夏の支部予選での「朝来ボーイズ」戦では、5回の時点で5点のビハインドを背負いながら逆転勝利。その決勝戦では、降雨によるサス香寺球場 あじさいスタジアムに場所を変えナイターでの試合再開等、思い出は多い。
- 8期生：大型バッテリーを中心に、のじぎく大会(準優勝)、大和川大会(ベスト4)、選手権支部予選(ベスト4)等、の各大会でそこそこの成績を収めてきたが、悪ガキタイプの選手が居なかったせい、おとなしいチームだったイメージが残っている。
- 9期生：関西秋季大会、春季大会の両支部予選を連覇し3期生以来の春季全国大会出場を果たした。球友が強かったのか、廻りが弱かったのか、戦力的にも圧倒的なものは無かったが、勝負どこで集中打や長打が飛び出し、逃げ切って勝つことができた本当に不思議なチームであった。
- 10期生：2番目に多い新入部員があった学年。少し小粒のチームではあったが、守備と走塁は歴代1であったように思う。特に走塁は走力・判断力にレベルの高い選手が多く、ランナーから相手にプレッシャーをかけることが出来たチーム。

創部10年を機に、球友グラウンドで球友OB総会(球敬会も一緒に)の開催を企画したいと考えております。懐かしいメンバーが、一同に会し、ここでは書ききれない数々の思い出話をしたいと考えております。

監督 富 光男

7. 神戸球友ボーイズコーチ・スタッフ

はや、神戸球友ボーイズも10周年を迎える事が出来ました。これもひとえに、ご父兄はじめ球友関係者皆様方の絶大なるご支援のおかげだと感謝申し上げます。チーム発足当初、最初の練習は選手8名、監督・澤田コーチ、小生の11名でのスタートでした。初の練習試合は、東岡山クラブというチームで、相手チームに選手をお借りしての試合。道具車は、澤田コーチが知合いの魚屋さんから貸して頂いた軽自動車でした。今は専用球場を持つチームとなりましたが、専用球場があることが当たり前ではありません。初心を忘れる事なく、これからも頑張っ



コーチ 森 文兵

例えば、甥の亮二に「親父と叔父さんでチーム作ってくれへんか」の一言から始めた神戸球友ボーイズが、正直10年やってこれたのは、良い家族、素晴らしいスタッフ、コーチ陣のおかげで、ここまでやってこれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



そして、昨年念願の専用球場を関西環境の大森社長、清水建設の清水副社長はじめ、チーム発足時より応援していただいています相田鮮魚店、知万喜水産、(株)魚銀、球敬会、現役の御父兄、O.Bのご父兄方々の御協力により西区布施畑に専用球場を持つ事が出来ました。今年で、息子の昌吾も卒部いたしますが、体の続く限り我が愛する球友を続けて行きたいと思っておりますので、今まで同様にご支援宜しく御願い申し上げます。

コーチ 澤田 擴好

神戸球友ボーイズとの縁が生まれて10年が過ぎました。毎週ジブシーのようにグラウンドを転々としていた時代が懐かしく感じられます。平日からグラウンド確保にご協力頂いた当時の父母並びに関係者の方々には、感謝の気持ちで一杯です。また、昨年の専用球場の建設に際しまして、皆様によりご指導・ご協力頂きました結果、あのような素晴らしい球場を完成させることができましたこと、併せ、深謝申し上げます。これからも専用球場の有難さを忘れず、大切にしていきたいと思っております。



私自身は、設立年の秋からコーチに就任して10年が経過します。当時は(ギリギリ)20代の若手コーチでしたが、来年で40歳のおじさんになろうとしています。軽快な動き?で選手と一緒に練習に参加していた当時の自分は影を潜め、動けない分は口でカバーするようになりました。私生活においては、結婚と愛娘「悠」の誕生により充実した日々を送っています。神戸球友ボーイズという世界を通じて、父母の皆様、子供達、スタッフの方々等、多くの方々と接することで、普段の生活では学べないことを数多く学ばせて頂いております。これからも微力ながら、精一杯神戸球友ボーイズの発展の為に尽力していきたいと思っております。お時間があれば是非球場まで足を運んで下さい。卒部した父母の皆様や子供達の元気な顔を是非とも拝見したいと思っております。

コーチ 松井 将之

球 敬 会 報 (神戸球友ボーイズ創立10周年記念号) 2009年10月発行

球友ボーイズ並びに球敬会10年おめでとうございます。

監督はじめスタッフに恵まれ球友ボーイズに参加させていただきこころより感謝申し上げます。私が球友ボーイズに携わり今年の3年生で5年となりますが、いい選手がいるが勝てない年、たいしたことがないのに勝てる年、お父ちゃんおかあちゃんが必死にがんばっているのに結果が出ない年といろいろありました。今振り返ればどの年も個性豊かな選手、ご父兄がおられたことを思い出します。また、指導の難しさを痛感しています。

ご父兄の方々には納得の行かない年もあったかと思いますが、私が中学校で野球をやっていたらどうなっていたかわからないが、高校、社会人野球で教わった技術、目に見えない心構え等を教え、高校では即レギュラー、また、大学、社会人と1年で永く1人でも多く野球をやってくれる選手を送り出し、最終的にプロ野球で活躍してくれる選手が出れば最高です。

今後、何年指導できるかわからないが、時には厳しく、時には馬鹿を言いながら楽しく、体がづくかぎりがんばりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

コーチ 青田 勝則

神戸球友ボーイズが誕生し10年を迎えることができました。僕自身も発足当時からコーチに就任し色々な思い出があります。なかでも、初めての全国大会の切符を掴んだ小川 藤本のバッテリー、あの感動をもう1度と思い頑張っていきます。球友の目標は全国大会優勝です。これからも応援よろしくお願いします。

また息子の慶輔も練習生?として参加させてもらってます!!!

コーチ 小西 幸二

8 . 東洋大学附属姫路高等学校 堀口監督

この度は創設10周年、並びに球友グラウンド新設、本当におめでとうございます。創設当初から数年間お手伝いをさせて頂きましたが、今思い出せば心に残ることばかりでありました。

メンバー8人での練習、「球友ワッショイ」のかけ声の発案、宝塚を倒しての初優勝、色々ある思い出の中、私の中で一番残っていることは、創設当初の各御家庭が持ち寄って下さった手作り弁当です!!

毎週「今日はどんなおにぎりやろ!?!」と楽しみに練習に行かせて貰ってたのが昨日のようです。そのお手製弁当のパワーで沢山の選手にノックをさせて頂きました。

“球友ボーイズ” その名の通り「球の友の輪」に入れて頂いて本当に感謝しております。最後になりましたが球友ボーイズ、球友OB並びに球敬会の益々の御健勝と御多幸を祈念し御祝いの言葉とさせて頂きます。

この度は、球友ボーイズ10周年本当におめでとうございます。

東洋大学附属姫路高等学校 監督 堀口 雅司



9 . OB 近況

(1) 一期生

神戸球友ボーイズ10周年おめでとうございます。

僕は、今酒類販売の会社の営業マンとして頑張ってます。今年家庭を持ち娘もできました。僕が球友ボーイズでお世話になったのは、一年位でしたが監督はじめコーチの方々に野球を通して教えて頂いた事が、社会人となった今でも活かされていると思います。これからも球友ボーイズのご発展とみなさまのご多幸をお祈りしております!

1期生 キャプテン 藤本 洋己

(2) 二期生

神戸球友ボーイズ10周年おめでとうございます。私の「野球チーム作ってくれ」という一言から始まったチームが10周年を迎えることになり、大変嬉しく思います。当時は部員数が8人しかおらず、試合をするときは相手チームに選手を借りるといった状態でした。バスもグラウンドもなかったので、グラウンドを借りることができなかった週は須磨海岸でひたすら走るといったこともありました。

今となってはすべてが思い出になっています。現在の選手たちも練習は厳しく楽しいことばかりではありませんが、球友で学んだこと、経験したことは将来必ず役に立つので、仲間を大切に、できる限り長く好きな野球を続けて欲しいと思います。今後も神戸球友ボーイズのさらなる発展をお祈りします。

第2期 キャプテン 富 亮二

(3) 三期生

神戸球友ボーイズ創部10周年おめでとうございます。富監督と小学校5年生の時に出会い、野球の技術はもちろんのこと野球の厳しさ・楽しさ、礼儀礼節を教えていただきました。

「お前はキャッチャーや」と富監督からいわれ、大学野球を終える現在までキャッチャーとして頑張ることができました。大学卒業後も仕事をしながら野球を続けていくつもりです。

後輩の方々へ・・・野球は自分ひとりでやっているのではなく、監督コーチ、家族の方のおかげで野球をさせて頂いているのだという気持ちを常にもって野球をやり続けてほしいと思います。

最後になりましたが神戸球友ボーイズのますますのご発展をお祈りいたします。

第3期 キャプテン 藤本 洋士

(4) 四期生

この度は、神戸球友ボーイズの創部10周年と専用グラウンドの設立おめでとうございます。

私は4期生のキャプテンを務めさせていただきました。球友での3年間では、中学生という多感な時期を貴重な経験と共に、とても有意義に過ごすことが出来ました。富監督を始めとするスタッフの方々に教わったことは、高校で野球を続けていく上での基盤になりました。

現在は、関西大学の3回生に在籍し、教員免許の取得に励んでいます。

第4期 キャプテン 福永 雄真



球 敬 会 報 (神戸球友ボーイズ創立10周年記念号) 2009年10月発刊

(5) 五期生

10周年おめでとうございます。卒団して5年が立ち私も二十歳になりました。今つくづく思うのは大学まで野球が出来るのは球友に入部し富監督をはじめコーチの方々の指導いただいたお陰だと感謝してます。

また、同期とは今でも連絡を取り合いたまに会って楽しくやっています。これも球友に入部したからこそ知り合えた仲間です。本当に有難うございました。

監督、コーチの方々これからも体に気をつけて頑張ってください。

第5期 菅 幾哉

(6) 六期生

神戸球友ボーイズ、10周年おめでとうございます。早いもので球友を卒部して4年が過ぎました。代表、監督、コーチの皆さんにはお世話になり、高校でも野球を楽しく続けることができました。当時は、専用球場もなく、ワンボックスの球友号に野球道具をいかに上手に積むかに苦労したのを覚えています。

専用球場もでき、今後の神戸球友ボーイズのますますのご発展をお祈りします。

第6期 キャプテン 磯尾 悠真



(7) 七期生

この度は球友10周年おめでとうございます。私の頃はまだ今のようにホームグラウンドがなく毎週土日はバスで移動する事がほとんどでした。でも今思えばそのバス移動こそが楽しい思い出になっています。途中で酔う者やトイレに行きたくなる者、ハプニングは多々ありました。その度にみんなで笑いバスの中はいつも賑やかでした。色々な地域や色々なグラウンドで練習するのはなかなか楽しいものでした。そのグラウンドによってランニングに最適なコースや坂道があり森コーチが喜んでいた顔を思い出します。松井コーチの野口球場での百本ノック。真っ黒になって受け終えた達成感は今でも忘れられません。そして監督の怒鳴り声は天下一品でした。球友で学んだお陰で高校でも野球をする事ができ高校野球というものを学ぶことができました。球友にはとても感謝しています。球友に行くとか何かホッと私にとって今はそういう場所です。これからもそういう場所であってほしいです。更なるご発展を心よりお祈りしております。

第7期 キャプテン 植田 健太



(8) 八期生

10周年おめでとうございます。中学の時は監督がめっちゃ怖かったですが、高校に入ってたまに練習に行ったときめっちゃ優しい顔で迎えてくれます。監督、青田コーチには今でもバッティングを教えてもらい有難うございます。これからもお願いします。

第8期 菅 貴正



10周年おめでとうございます。これからも、神戸球友ボーイズとしての誇りと自覚をもって頑張ってください

第8期 大久保 貴司



(9) 九期生

入ったときは3年間背番号もらえないと思っていました。でも最初のランニング、最後のランニング、ノック、その他いろいろな練習をしているうちにこれだけしてて背番号をもらえずに終わったらあほらしいなと思ったので頑張るとにかく元気をだして練習に取り組みました。自分は実力がないのがわかっています。なのでとにかく元気をだしてみんなを引っ張ることだけを考えてやっていました。そしたらキャプテンに選んでもらえました。最初は自分じゃ無理だと思っていました。でもやるしかなかったのでできるだけことはしました。こんなキャプテンだったのについてきてくれて本当にうれしかったです。みんなのおかげで全国大会も経験させてもらえたし本当に9期生でよかったと心から思いました。みんながいたから頑張れたしみんながいたから野球が好きでいられたし球友が好きでいられました。こんないい指導者や保護者や仲間がいるチームはほかにはないから思います。ぼくは家をでて鳴門工業に行きました。毎日しんどいですが球友で鍛えてもらったから続けられていると思います。

なので高校を引退したら少しでもお手伝いをしたりしてなにかお返しができたらいいなと思っています。神戸球友は本当に最高のチームです。 本当にありがとうございました。

第9期 キャプテン 中尾 将人



(10) 十期生

神戸球友、10周年おめでとうございます。僕が幼稚園の時に出来、いつも父に付いて遊びに来ていたのを思い出します。今ではグラウンドも出来、良い環境の中、野球をやらせて頂き、大変嬉しく思います。其の分楽な練習ばかりではありませんが、精神的にも技術的にも成長させて頂く事が出来ました。高校に進学しても、神戸球友で学んだ事を忘れずに活かして行きます。神戸球友の益々のご健勝をお祈りします。

第10期 キャプテン 澤田 昌吾



10. お知らせ

松井コーチにお子さんが誕生しました。 お名前は、「悠ちゃん」



「編集後記」

この度は編集を担当して頂いた6期生OB父兄の岸様、そしてコメントを寄せて頂いた球友スタッフ、各期OBの皆様、ご協力誠にありがとうございました。初代キャプテンの藤本君のご結婚の報告や各期OBの就職先、進学先でのご活躍等、嬉しいコメントを頂き、10年の深さを感じております。

球敬会は折に触れ、これからも不定期ではありますが会報を発行し、皆様に球友やOBの近況をお伝えしていきたいと考えております。又、来年の練習初めには是非とも皆様にグラウンドへお集まり頂き、懐かしい思い出話で盛り上がりしたいと思います。

OB並びにOBご父兄の皆様には、球友スタッフへのコメント、近況報告等どんな内容でも結構ですのでどしどしお寄せください。*コメント受付アドレス maeketsu@hi-net.zaq.ne.jp

球敬会会報編集部

編集責任者 前川 球敬会会長

編集者 岸 (6期生父母)

